

## 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

<b>企画名</b>
人力飛行機の設計・製作と機体展示
<b>実施日</b>
令和 3年 11月 6日(土) 15:00~16:00
<b>実施場所</b>
製作：風洞実験棟・船形試験水槽・C2-113 展示：東体育館
<b>企画代表者の氏名、所属</b>
氏名：正峯敬介 所属：工学部第一類
<b>構成員の氏名</b>
太田涼也，小松佳晶，柿本遥佳，正峯敬介，三田壮真，泉直樹，高瀬颯斗，佐藤悠太，駒場琢武，堀彰汰，伊東和輝，石河良汰，間賀田希美，前田航汰，宮田智史，上野琴絵，堀添太一，浅海遥香，二階堂瑞城，児玉久実，草野秀将，川口勝也，日浦拓郎，Bariq Ghazala（以上 24 名）
<b>指導的立場の教員氏名</b>
岩下英嗣・教授・大学院先進理工系科学研究科 先進理工系科学専攻
<b>企画の目的及び内容</b>
<p>本企画では、広島大学大学祭において学内外の方にこの活動を知って頂くとともに、人力飛行機の詳細な構造やスケールの大きさを実感してもらうことを主な目的とした。</p> <p>そのために、①大会用の全機体の展示、②翼・フェアリング・フレーム・電装・プロペラ各班の活動内容や製作方法をまとめたポスターの展示、③フライトシミュレーターの体験や子供向けの紙飛行機づくりなどの活動を実施する。これらの企画を通して、より多くの人に人力飛行機と我々の活動を知ってもらい、ものづくりに興味を持ってもらうことが目標である。加えて、広島大学工学部の広報活動にも貢献する。</p>
<b>来場者数</b>
82 名
<b>主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）</b>
なし
<b>活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）</b>
<p>前日までの準備として、全機体の展示ができるよう機体の修復作業と各班の活動内容等をまとめたポスターの作成、フライトシミュレーター等の準備を行った。同時に SNS やブログを通して機体展示の宣伝を行った。SNS での宣伝と呼び込みの成果もあり、当日は 82 名の方にご来場していただいた。来場者には体育館入場時に手指のアルコール消毒とマスクの着用を条件に入場していただいた。親子連れの方も多く来場され、お子様は紙飛行機づくりやフライトシミュレーター、親御さんは展示を中心に楽しんでいただいた。実際の機体を見た来場者の方からは、「想像より大きい」、「発泡スチロールで作っていることに驚いた」など、機体展示ならではの感想を多くいただいた。機体展示や来場者の方とのコミュニケーションを通して、私たちの製作活動に興味・関心をもってもらうことができ、人力飛行機の良さも伝えることができたと感じた。</p>

(裏面に続く)

# 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

## アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

アンケートは実施していません。

## 成果・課題

今回の機体展示では、全機体を展示したことで、人力飛行機のスケールの大きさを実際に体験してもらうことができた。ご来場いただいた方には感染症対策を徹底しつつ、チームメンバーが積極的に話しかけに行くことで、人力飛行機の製作活動に興味を持ってもらえるように努めた。今回はコロナウイルス感染拡大防止のため、来場者は学内関係者のみであり、大学祭の時間帯も 15 時からということもあって、例年ほどの来場者数は見込めないと予想していた。しかし、機体展示を実施した 1 時間の間に 82 人の方々にご来場いただいた。前回の来場者数は 261 名だったが、実施時間を考慮すると、比較的多くの方にご来場いただくことができたと思われる。来年度以降は、コロナウイルスの影響が少なくなると予想されるため、今回よりも多くの来場者数が見込まれる。

## 実施風景 (写真)



図 1 機体展示の様子 1



図 2 機体展示の様子 2



図 3 紙飛行機体験の様子



図 4 フライトシミュレーター体験の様子

【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学系総括支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)